

## 第4段階：ガリラヤにおける大宣教

### J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

#### デイリー・ジーザス・ニュース #125

##### 5. イエスは弟子たちに偽善について警告する

MT 16.5-12 ( 並行テキスト： マルコ8.14-21 )

5 弟子たちは湖を渡ったとき、パンを持ってくるのを忘れた。<sup>M</sup>彼らが船の中に持っていた一つのパンを除いては。6 イエスは彼らに言われた。

*「私はあなた方に命じます。警戒を怠らないでください。パリサイ人とサドカイ人のパン種に対して、注意深く警戒してください。<sup>M</sup>とヘロデ。*

7 <sup>MT</sup>彼らは互いに話し合い、「それはパンを持ってこなかったからだ」と言いました。8 イエスは彼らが何を話しているかを知っていたので、こう尋ねました。

*「信仰の薄い者たちよ、なぜパンがないと言い合っているのか。9まだ信じないのか。<sup>M</sup>参照、または<sup>MT</sup>は理解しましたか？<sup>M</sup>あなたがたの心はかたくなになっていませんか。目があっても見えず、耳があっても聞こえないのですか。*

<sup>MT</sup>」覚えてないの？私が壊れたときの<sup>M</sup> <sup>MT</sup>五千人分の五つのパンと、いっぱいになった籠の数 破片の<sup>M</sup> <sup>MT</sup>は分かりましたか？

<sup>M</sup>彼らは彼に「12人です」と答えました。

*10 <sup>MT</sup>「あるいは七つのパンを四千人に分けたら、何籠いっぱいになるか 破片の<sup>M</sup> <sup>MT</sup>は分かりましたか？*

<sup>M</sup>彼らは彼に「七つ」と答えました。

*11 <sup>MT</sup>「私がパンについて話していたのではないことが、どうして分からないのですか？しかし、パリサイ人やサドカイ人のパン種に対しては、注意深く警戒しなさい。」*

12 そのとき彼らは、イエスがパンに使われる酵母に警戒するようと言っているのではなく、パリサイ人やサドカイ人の教えに警戒するようと言っているのだということを理解した。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、*イエスの言葉は赤いイタリック体で書かれています*。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

#### コンテキストダイジェスト

位置	ガリラヤ湖を渡る船の中で
----	--------------

## 第4段階：ガリラヤにおける大宣教

### J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

タイムライン	5月～6月（27月または28月）
イエスの生涯の文脈	第4段階：ガリラヤにおける大宣教
	J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる
タイトル	5. イエスは弟子たちに偽善について警告する

コメント：

イエスがガリラヤのダルマヌタ地方へ24時間かけて戻られた際、パリサイ人とサドカイ人から、イエスがメシアである証拠として奇跡を行うようという偽善的な要求を受けました（DJN #124）。イエスは直ちにガリラヤ北部の異邦人地域へと戻りました。旅は再び船でガリラヤ湖を渡ることから始まりました。イエスはベツサイダの町に近い、湖の北端へと向かいました。今日の朗読は、彼らが湖を渡っている船の中で起こりました。

イエスは宣教活動を通して、当時社会の大きな悪である偽善について警告を発していました。十二使徒とすべての弟子たちへの最初の深い教えは、マタイによる福音書5章17-20節の「山上の教え」でした。そこでイエスは、ご自身が生き、そしてご自分に従うすべての人々に伝えた神の義は、パリサイ人が実践していた義よりもはるかに優れていることを明らかにされました（マタイによる福音書5章17-20節）。パリサイ人は、神の前での心の状態など全く気にかけず、外見的な振る舞いによって人々に見られ、称賛されることを何よりも求めていました。それは偽善であり、神との愛の関係を断ち切るものでした。

パリサイ人は当時の社会で非常に尊敬されていたため、イエスは常に彼らの二枚舌と対峙し、偽善の罪を何度も叱責しました。ダルマヌタで再びその悪臭を味わったばかりのイエスは、舟に乗っている弟子たちに、その教えをしっかりと心に刻みつけました。

「M」に注目すると、マルコが使徒たちの偽善の危険性に対する無感覚をイエスがいかに懸念していたかに特に注目していたことがわかります。パリサイ派とサドカイ派は、信仰や考え方は異なっていたものの、自らの偽善に対して致命的な盲目さを持っていました。マルコはまた、洗礼者ヨハネを捕らえ、斬首させたヘロデ・アンティパスをイエスに含めたことを、偽善の毒の3つ目の例として挙げています。

イエスは弟子たちが自分自身の偽善を認識し、注意深く守ることを強く主張しました。

**「私はあなた方に命じます。警戒を怠らないでください。パリサイ人、サドカイ人、そしてヘロデのパン種に対して、注意深く警戒しなさい。」**

イエスが「教え」と呼んでいたパリサイ人、サドカイ人、ヘロデに共通していた唯一の点は、彼らが自らの偽善に全く気づいていなかったことです。イエスは、自分が接するすべての人の心の秘密を知っていたので、このことを深く憂慮されました。イエスはどこにでも偽善を見ていました。パリサイ人は、その典型的な例でした。

## 第4段階：ガリラヤにおける大宣教

### J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

イエスが強調したのは、偽善は私たち皆が共有する罪深い性質の根源的な表れであるということです。誰もが常に偽善に対して注意深く警戒しなければなりません。地上の人生において、この悪との戦いに終わりはありません。私たちの敵は私たちの内にいるのです。

偽善とは、言っていることとやっていることが違うことです。それは、外見上の行動で内なる動機を隠そうとする結果です。霊的な観点から言えば、実際には自分の利益だけを動機としているにもかかわらず、神に仕えていると勘違いしてしまうという誤りも含まれます。それは、神との関係においてさえ、自分自身の自己中心性に気づかないことです。

偽善とは、私たち自身の言動の間にある宇宙的な隔たり、そして他人には容易に見えるものの、自分自身の中では気づかれないままに蔓延している罪や欠点への盲目さを意味します。私たちには偽善という生まれながらの傾向があり、常に注意深く警戒を怠ってはなりません。イエスはまさにこれを命じられました。なぜなら、イエスは私たちの真の姿をご存知だからです。

応用：

では、偽善への答えは何でしょうか？真実です。真実は偽善という毒に対する解毒剤です。神だけが真実です。なぜなら、神だけが全てを知っているからです。神には盲目はありません。神は全てのことをありのままに見て、知っています。

神は、究極的には御子を通して、そして聖書を通して確実に真理を私たちに伝えてくださいました。聖霊は、信じる私たちの心に働きかけ、聖書を通してイエスの真理を見られるようにし、それによって私たちの自己中心性を真の罪として見るができるようにしてくださいます。自分の罪を悟れば、イエスの恵みと憐れみの無限の豊かさが、信仰によって私たちに解き放たれます。私たちは悔い改めることができます。私たちは変わることができます。イエスは私たちの内に住み、私たちを別の者に変えることができます。悔い改めたすべての偽善者には希望が尽きることはありません。なぜなら、イエスは救いを求めてご自分に頼る偽善者を愛しておられるからです。

*神はこれまで、あなたの罪に関してどのような盲点をあなたに明らかにされましたか。*

*あなたの性格の中で最も偽善的になりやすいのはどの部分ですか？*

*偽善に対して警戒を続けるために、どのような計画をお持ちですか？*